様式第二号の八（第八条の四の五関係）

茨城県
－8.6.25
県西県民センター
受付

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和　８年　６月　25 日

茨城県知事　　大井川　和彦　　殿

提出者
住　　所　茨城県結城市大字結城 11527-1
氏　　名　ベルテクス株式会社　結城工場
工場長　石原　洋二
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号　０２９６－３３－３１３１

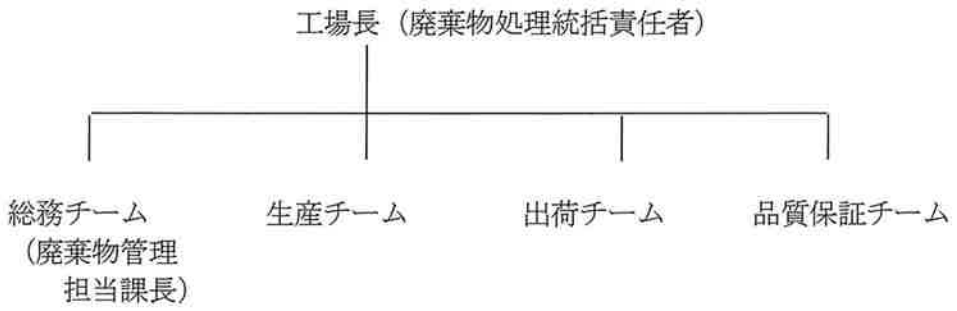
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 12 条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	ベルテクス株式会社　結城工場
事業場の所在地	茨城県結城市大字結城 11527-1
計画期間	令和８年４月１日から令和９年３月 31 日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	大分類：製造業　　中分類：窯業・土石製品製造業
②事業の規模	昨年度の製造品出荷額　22 億円
③従業員数	50 名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	コンクリートがら　→　破砕（委託）　→　再生砕石として再生利用（委託） 廃プラスチック類　→　破砕（委託）　→　最終処分場で埋立処分（委託） →　最終処分場で焼却処分（委託） 木くず　→　破砕（委託）　→　チップとして再生利用（委託） →　焼却（委託）　→　最終処分場で埋立処分（委託） 廃油　→　焼却　→　セメント固形化（委託）　→最終処分場で埋立処分（委託）

（日本工業規格Ａ列４番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状

【前年度（　令和７年度）実績】

産業廃棄物の種類	コンクリートがら	廃プラスチック類	木くず	廃油
排　出　量	1394.19ｔ	2.67ｔ	11.75ｔ	1.34ｔ

（これまでに実施した取組）
評価減品が発生しないよう後入れ先出しルールの徹底

② 計画

【目標】

産業廃棄物の種類	コンクリートがら	廃プラスチック類	木くず	廃油
排　出　量	991.00ｔ	2.00ｔ	5.00ｔ	1.00ｔ

（今後実施する予定の取組）
製造工程における不良品発生を低減させるため、作業終了時のダブルチェックを徹底する

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
コンクリートがら、木くず、廃プラスチックは混ざらないように分類している

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
金属くずと廃プラスチックが混ざらないように分別の徹底

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状

【前年度（　令和７年度）実績】

産業廃棄物の種類	コンクリートがら	廃プラスチック類	木くず	廃油
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ	０ｔ	０ｔ

（これまでに実施した取組）
特に無し

② 計画

【目標】

産業廃棄物の種類	コンクリートがら	廃プラスチック類	木くず	廃油
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ	０ｔ	０ｔ

（今後実施する予定の取組）
特に無し

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状

【前年度（　令和７年度）実績】

産業廃棄物の種類	コンクリートがら	廃プラスチック類	木くず	廃油
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ	０ｔ	０ｔ
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ	０ｔ	０ｔ

（これまでに実施した取組）
特に無し

② 計画

【目標】

産業廃棄物の種類	コンクリートがら	廃プラスチック類	木くず	廃油
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ	０ｔ	０ｔ
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ	０ｔ	０ｔ

（今後実施する予定の取組）
特に無し

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状

【前年度（　令和７年度）実績】

産業廃棄物の種類	コンクリートがら	廃プラスチック類	木くず	廃油
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0ｔ	0ｔ	0ｔ	0ｔ

（これまでに実施した取組）
特に無し

② 計画

【目標】

産業廃棄物の種類	コンクリートがら	廃プラスチック類	木くず	廃油
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0ｔ	0ｔ	0ｔ	0ｔ

（今後実施する予定の取組）
特に無し

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状

【前年度（　令和７年度）実績】

産業廃棄物の種類	コンクリートがら	廃プラスチック類	木くず	廃油
全処理委託量	1394.19ｔ	2.67ｔ	11.75ｔ	1.34ｔ
優良認定処理業者への処理委託量	0ｔ	0ｔ	0ｔ	0ｔ
再生利用業者への処理委託量	1394.19ｔ	2.67ｔ	11.75ｔ	1.34ｔ
認定熱回収業者への処理委託量	0ｔ	0ｔ	0ｔ	0ｔ
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0ｔ	0ｔ	0ｔ	0ｔ

（これまでに実施した取組）
委託基準に基づき、委託可能な処理業者を選定している

② 計画

【目標】

産業廃棄物の種類	コンクリートがら	廃プラスチック類	木くず	廃油
全処理委託量	991.00ｔ	2.00ｔ	5.00ｔ	1.00ｔ
優良認定処理業者への処理委託量	0ｔ	0ｔ	0ｔ	0ｔ
再生利用業者への処理委託量	991.00ｔ	2.00ｔ	5.00ｔ	1.00ｔ
認定熱回収業者への処理委託量	0ｔ	0ｔ	0ｔ	0ｔ
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0ｔ	0ｔ	0ｔ	0ｔ

（今後実施する予定の取組）
委託した処分場等の現地確認を定期的に実施する
可能な限り優良認定処理業者から選定する

※事務処理欄

備考

1　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。

2　当該年度の6月30日までに提出すること。

3　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

4　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

5　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

6　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

7　※欄は記入しないこと。